

# 『PCA 医療法人会計シリーズ』バージョン1.0、リビジョン6.01 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH221010

※『PCA Client-API』や他のカスタマイズ(アドオン)プログラムをご利用のお客様は、アップデート後のカスタマイズプログラムの動作への影響について、事前にご確認ください。  
動作に問題ないことを確認後、アップデートを実行してください。

## ■互換性に関する変更点の有無について

### ◇データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「7.19」に更新しました。

以下のテーブルを追加しました。

- ・取引データ
- ・取引データ項目設定
- ・取引仕訳摘要設定
- ・取引仕訳転送ログ

### ◇APIの変更について

変更なし

### ◇汎用データの変更について

以下の汎用データレイアウトを変更しました。

- ・仕訳(Ver7,5)

以下の汎用データレイアウトを追加しました。

- ・取引データ

## ■主な機能強化・仕様変更点

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

※ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

### ◇デジタルデータ処理の追加

- ・「デジタルデータ処理」－「クイック処理」－「クイック受入の初期設定」「クイック取引受入」「クイック仕訳転送」を搭載しました。指定した形式と合致する汎用データや『PCA Hub eDOC』にアップロードされた領収書などの証憑ファイルを取引データとして受け入れることができます。
- ・既存メニュー「銀行口座・クレジットカードの連携設定」「取引明細の受入」を「デジタルデータ処理」－「FinTechサービス」に移動しました。

### ◇「データ入力」－「仕訳の一括変更」の追加

仕訳に使用されている勘定科目や補助科目、部門を一括で変更することができるようになりました。

### ◇「日常帳票」－「仕訳伝票発行・チェックリスト」

- ・一括承認機能を追加しました。
- ・条件指示において、[出力条件][詳細条件][その他の設定]タブを追加し、検索機能を強化しました。

### ◇「日常帳票」－「日計表」

- ・期間集計に対応しました。

◇「随時」－「汎用データの受入」

- ・仕訳・勘定科目・補助科目・自動仕訳・予約伝票の受入で、汎用データの税区分コードが「0」と設定されている場合、「00」と読み替えて受け入れることができるようになりました。
- ・勘定科目の必須項目から「勘定科目正式名」「貸借区分」を除外しました。
- ・補助科目の必須項目から「補助科目正式名」を除外しました。

◇消費税申告書の様式改正に対応

- ・消費税申告書 第1表(一般・簡易)と第2表の様式改正に対応しました。金額の計算に影響はありません。

◇利用者識別番号の確認

- ・電子申告データ出力時に利用者識別番号が法人用か確認するように修正しました。

◇即時通知等の情報を保存

- ・電子申告データ送信時に即時通知等の情報を操作ログ詳細に保存するように修正しました。

以上